

氏 名：稲岡 希実子
学位の種類：博士（看護学）
学位記番号：甲第200号
学位授与年月日：2021年3月10日
学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当
論文審査委員：主査 片岡 弥恵子（聖路加国際大学教授）
副査 大田 えりか（聖路加国際大学教授）
副査 中山 和弘（聖路加国際大学教授）
副査 松谷 美和子（国際医療福祉大学教授）

論文題目： Effectiveness of Preventing Second-hand Smoke for Pregnant Women at Home Using an Educational Comic Booklet in Indonesia: A Randomized Controlled Trial

博士論文審査結果

稲岡さんの博士論文は、インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防するためにコミック教材を用いた介入効果をランダム化比較試験で検証することを目的とした。インドネシアでは、7割もの妊婦が受動喫煙に曝露しているという公衆衛生上の喫煙の課題が研究の背景にあった。本研究の独創性は、インドネシアで人気の日本の漫画を活用して教材を作成したこと、妊婦とパートナーのカップルに向けた介入であること、コミック教材に禁煙のリマインダーを追加したことなどがあげられる。研究の結果は、プライマリアウトカムである3か月後の妊婦の受動喫煙回避行動では、19の行動中5行動に2群間で有意な差が認められた。パートナー・夫の行動では、7の行動中5行動で有意な差が認められた。しかし、知識、セルフエフィカシーへの効果は認められなかった。

審査においては、主に以下の8点の指摘があった。

1. 結果では、実測値の差を示すこと。
2. コンプライアンスの記載、実際にコミックを読んだ人での分析を追加するとよい。
3. 使用した尺度の信頼性、妥当性の記述を追記する。
4. 欠損値の扱いを確認すること。
5. 論文中の用語について正しい表現で記述すること。前後の変化で見えていないのに、行動変化（behavior change）と表現しているところは修正すべきである。
6. 尺度の合計得点だけでなく、それぞれの回避行動について2群間の違いを分析する。

7. 知識や信念は変化しなかったが、行動が変わった理由について、既存研究との比較から考察すること。

これらについて、適切に修正されたことがすべての審査員から確認された。本研究は、予備研究を積み上げた上でデザインとしてもよく練られており、全審査員から博士論文として高く評価された。今後の課題として、カップルで合わせた分析、研究者が作成した尺度に関する信頼性・妥当性の検討、回避行動、信念、知識の関係性の分析等があげられ、2次分析として引き続き検討していくことが示された。コロナ禍において、インドネシアでの研究の実施は決して容易ではなかったが、地道に努力を重ね、最終的に有用な結果を出すに至った。研究協力施設では、コミック教材の今後も活用の強い希望もあり、普及と実装への可能性も高い。

以上により、本論文は、本学学位規程第5条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、稲岡さんは看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。